

学術実験プラットフォーム検討チームについて

目的

- ✓ 「プラットフォーム」は研究所のハード面の基盤です。post LHDの時代に、核融合科学の中核研としてNIFSが備えるべき学術基盤とは何か、LHDのデコミッションイングに際して、その資産を最大限に未来に活かす学術戦略は何か、そしてNIFSの次世代プロジェクトはいかにあるべきか、これらの戦略を多角的に複数案検討する

⇒学術実験プラットフォーム:テーマを設定し、それを研究する道具・手段としての実験装置. 多目的に使える装置。例えば、Spring8

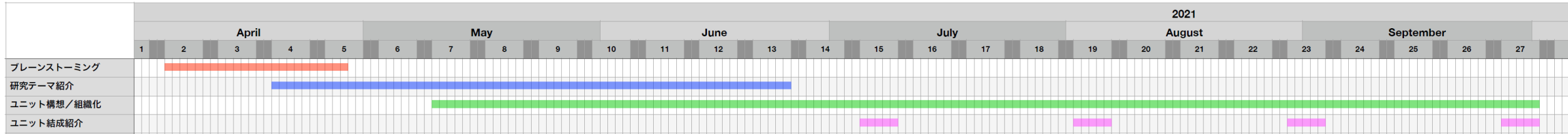
ユニットとの関係

- ✓ 2021年度に学術研究テーマを掲げたユニットが組織される
- ✓ ユニットが掲げるテーマを研究するための手段としての実験装置と位置付け
- ✓ ユニットは大学の先生を含めたメンバー構成

学術実験プラットフォーム検討方針

- ✓ プラットフォーム検討には、コミッティーを置く。トカマク、レーザー等のコミッティーから意見を聞く。
- ✓ 双方向連絡会議、アドバイザリーボード(分野外、シニア)を巻き込んで議論
- ✓ この分野の学術研究の新しい課題を掲げる。これを解決すると、どんな新しい世界が広がるのか？を示す。アピールの仕方の知恵を絞る。
- ✓ 学術的にproductiveな一点突破型のテーマ設定
=> 複数のユニットが前進できるものが望ましい。
- ✓ これまで次期計画の延長ではなく、「もう一度ブレインストーミングしよう」から始める。未来を自由に描く。4月からブレインストーミング活動開始。
ブレインストーミングのルール: 人を非難しない。
- ✓ ユニット化の検討と同時にその手段(プラットフォーム)を同時に考える。

学術実験プラットフォーム検討スケジュール案



ブレインストーミング・現状のレビュー・アドバイザリーボードからの情報提供/調査等

提案募集、具体案紹介、

各プランの研究計画の具体化、検討チーム編成、
Plan A, Plan B, Plan C,...(作業仮説)

会合スケジュール案：当面Unit準備会合と合同開催

- 4/6火 13:15 Unit&Pltfm合同会合(第1回)
- 4/12月 13:15 Unit&Pltfm合同会合(第2回)
- 4/19月 13:15 Unit&Pltfm合同会合(第3回)
- 4/26月 13:15 Unit&Pltfm合同会合(第4回)

合同会合の構成案

- ①研究テーマの紹介(数名×10分)
- ②ブレインストーミングその1(unit)
学術研究としての重要性、発展性、連携の可能性等
- ③ブレインストーミングその2(Pltfm)
研究に必要な装置の仕様、条件等
- ④ゲスト講演等をアレンジ(例えば、隔週を想定)

学術実験プラットフォーム検討

事務局（議事メモ、WEB管理、運営等）

永岡賢一、坂本隆一、鈕持尚輝、
濱口真司、川手朋子、仲田資季

実際にプランの具体的な検討が始まるまでの事務局とする。
後半は、具体的な実験装置、研究計画の検討チームを別途組織して、活動を展開する。